

平成 25 年度 業績優秀者返還免除申請書

(様式 1-1 表)

平成 年 月 日

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 殿

本記載事項に相違ありません。

免除認定を受けた場合、認定後において日本学生支援機構が免除認定者の職業や業績等について調査を行うときにはその調査に協力することに同意のうえ、特に優れた業績による返還免除を申請します。

フリガナ

氏 名

印

大 学 院 名	早稲田大学												
課 程	☐	修士（博士前期）課程				☐	専門職大学院課程			☐	博士（博士後期）後期課程		
研究科名・専攻名							学 籍 番 号						
奨 学 生 番 号	6			0 6			生 年 月 日	昭 和		年	月	日	
現 住 所	〒						電話番号	()					
卒業後の連絡先 (現住所と同じ場合でも記入。 「同上」、「〃」等は不可)	〒						電話番号	()					

■大学院における研究課題等

題 目												
概 要												

■教育研究活動等の業績

1	学位論文その他の研究論文	2	大学院設置基準第 16 条に定める特定の課題についての研究の成果	3	大学院設置基準第 16 条の 2 に定める試験及び審査の結果
4	著書、データベースその他の著作物（1 及び 2 に掲げるものを除く。）	5	発明	6	授業科目の成績
7	研究又は教育に係る補助業務の実績	8	音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	9	スポーツの競技会における成績
10	ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績	記入の際は裏面記載の【記入上の注意】を参照。			

[illegible]

※学校の指定する期限までに提出し、リレー口座の加入手続きも必ず行うこと。

1. 「卒業後の連絡先」の欄は、平成 26 年 4 月 1 日以降の連絡先（未定の場合は実家の住所）を記入すること。
（4 月 1 日以降に「卒業後の連絡先」に変更があった場合には、返還のてびきの転居届を提出すること。）
2. 「課程」及び「教育研究活動等の業績」欄は、該当するものに○を記入すること。
3. 「教育研究活動等の業績」欄は、該当する数字を○で囲むこと。ただし、専攻分野に関連した業績に限る。
4. 「教育研究活動等の業績」欄に○を付した項目について、裏面にそれらの要旨を 800 字程度で記載すること。
なお、論文、著書及び受賞については、それぞれ作成又は受賞の年月を記入すること。
また、発表、学会誌等は、その名称、巻、号等を記載すること。
5. 大学院における成績証明書及び特に優れた業績を証明する資料を必ず添付すること。
（成績証明書は「教育研究活動等の業績」の「授業科目の成績」欄の○の有無に関わらず提出が必要。）

(注) これは様式 1 の裏面です。様式 1 は両面刷りで作成すること。

[illegible]